

ペーパーハン

◆作◆

佐藤五月

◆演出◆

中島裕一郎

◆装置◆ 堀尾幸男

◆照明◆ 中川隆一

◆衣裳◆ 宮本宣子

◆効果◆ 吉原 敦

◆舞台監督◆ 内田潤一郎



◆出演◆

樫山文枝	水谷貞雄
仙北谷和子	稻垣隆史
伊藤ひろこ	杉本孝次
戸谷 友	佐々木 研
桜井明美	西川 明
前田真里衣	山本哲也
飯野 遠	吉岡扶敏
いまむら小穂	
笛本志穂	
金井由妃	
高木理加	
長木 彩	
伊木瑠里	



漂流郵便局への手紙に
想いをたくす大人の男と女
ラブ・ソングにのせて贈る
爽やかなロマンチック・コメディ!



2018年

6月20日〔水〕～7月1日〔日〕

紀伊國屋サザンシアター
TAKASHIMAYA(新宿南口)

◆助成◆

文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)

◆後援◆ 香川県、香川県三豊市

◆協力◆ 三豊市政策部産業政策課

文化庁

◆作◆

◆演出◆

佐藤五月 中島裕一郎

熟年夫婦の英一(西川明)と桃子(樺山文枝)は、長年の夢だった自宅カフェ開業の準備に忙しい。カフェの名前は「ペーパームーン」。しかし、張りきっていた英一が急死し、英一を頼りにしてきた桃子は呆然自失。途方に暮れていたところへ、英一の風来坊の弟・五郎が現れて、難題もてきぱきと処理していく。

しかし、五郎の如才ない働きぶりに一抹の不安を感じる桃子。さらに再婚話がもちあがったり、行方知れずの娘・梢(桜井明美)が3年ぶりに帰ってきたかと思うと結婚すると言いだしてビックリ仰天。それについて思ひだされるのははじめて堅実だった英一のこと。英一への想いを手紙にしたため、受取人のいない手紙を預かる「漂流郵便局」宛に投函するのでした……。

粹なせりふと意表をつく芝居づくりで定評のある佐藤五月の新作。ラブ・ソングにのせて贈る爽やかなロマンチック・コメディ。

◆後援◆香川県、香川県三豊市 ◆協力◆三豊市政策部産業政策課
◆イラストレーション◆吉實 恵 ◆デザイン◆有山達也+山本祐衣



2018年6月20日[水]～7月1日[日] 紀伊國屋サザンシアター TAKASHIMAYA (新宿南口)

6/20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	7/1
水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
13:30	★	●	○	●	○	★	★	●	○	●	○
18:30	●	○	★			●	●		●	●	●

開場は開演の30分前、受付は1時間前からです。

◆前売開始◆2018年5月8日(火)より

◆入場料金◆(全席指定・税込み)

一般 6300円／夜チケット 4200円 [夜公演全席]

U25(25歳以下) 3150円 [劇団のみ取り扱い、要証明書]

高校生以下 1000円(枚数限定)[劇団のみ取り扱い、要証明書]

◆お申し込み・お問い合わせ◆

劇団民藝 044(987)7711 [月～土 10時～18時]

劇団民藝青山事務所 03(3401)5131

<http://www.gekidanmingei.co.jp/>

◆チケットぴあ◆ <http://apia.jp/> Pコード 485-882

セブン-イレブン、サークルK・サンクス、チケットぴあ店舗

◆ローソンチケット◆ オペレーター対応 0570(000)407 [10時～20時]

Lコード予約 0570(084)003 Lコード 34447

◆イープラス◆ <http://eplus.jp/> [パソコン・携帯]

◆キノチケットカウンター◆ (新宿駅東口・紀伊國屋書店新宿本店5F)

店頭販売 10時～18時30分

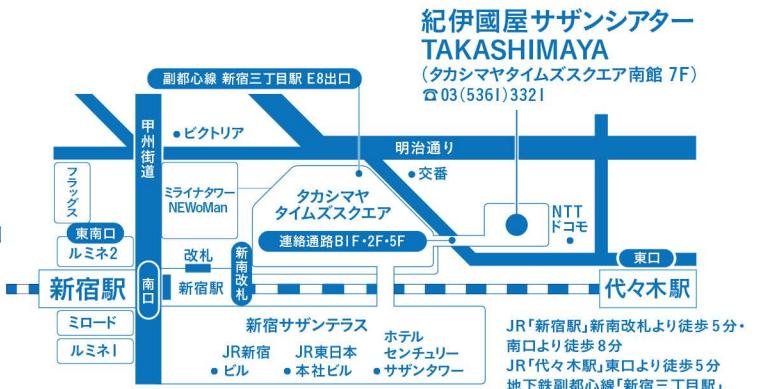
キノチケオンライン <https://www.kinokuniya.co.jp>



◆パリアフリー観劇情報◆ (ご利用の際は必ず事前にご連絡ください)

- ・パリアフリー割引あります。
- ・無料託児サービス土・日のみ承ります。
- ・車イス席・補助犬・点字チラシ・点字パンフレット承ります。
- ・視覚障害者対象・事前舞台説明会 6月24日、30日12:30～
- ・聴覚障害者対象・台本事前貸出申込先 FAX 044(986)0034

E-MAIL seisaku@gekidanmingei.co.jp(当日受付でも筆談対応可能)⇒詳細はHPで



◆9・10月公演◆ 時を接ぐ(仮題) 一岸富美子 石井妙子「満映とわたし」(文藝春秋刊)より 作=黒川陽子 演出=丹野郁弓 出演=日色ともゑ ほか

◆12月公演◆ グレイクリスマス 作=斎藤 懇 演出=丹野郁弓 出演=中地美佐子 神保有輝美 塩田泰久 岡本健一(客演) ほか

◆共催◆一般社団法人 劇団民藝

ペーパー
ムーン

漂流郵便局 MISSING POST OFFICE

2013年「瀬戸内国際芸術祭」のアート作品として現代芸術家の久保田沙耶氏が考案、届け先のわからない手紙を受けつける郵便局として瀬戸内海の粟島(三豊市)に開局。「行き場のない気持ち」「誰かに伝えたい想い」「宛先のない便り」を預かる。多い時で一日200通、のべ25,000通以上が全国から届いている。もっとも多いのは亡くなった人への手紙。テレビ、新聞、雑誌等でとりあげられ大きな話題に。「いつかのどこかのだれか宛に手紙を出したい方」、「いつかのどこかのだれか宛の手紙を読みたい方」は、漂流郵便局ウェブサイトの「ご案内」をご覧ください。
<http://missing-post-office.com>



Photo: Yoshihisa Motoda

劇場ロビーにて出張「漂流郵便局」を開設。届け先のわからない手紙をお預かりします。「漂流郵便局オリジナル・ポストカード」も販売します。